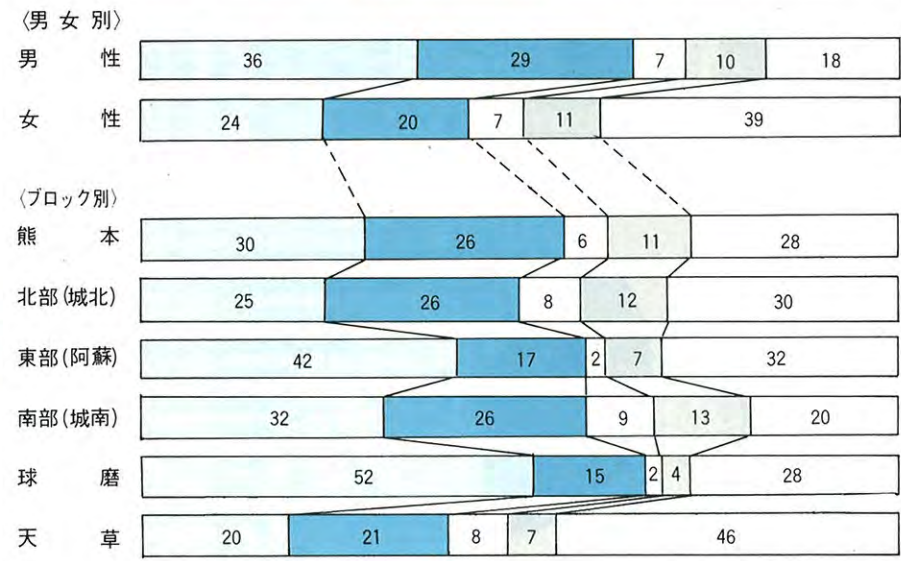


性が賛成しており(六五%)、女性では、わからないとした人も三九%みられました。(表一七)

次に、自分や子供を就職させた地域を聞いたところ、「熊本県内」という人が八二%と圧倒的に

積極的に誘致した方がよい	どちらかといえば誘致した方がよい	どちらかといえばしない方がよい	反対である	わからない
30.1%	24.4%	6.9%	10.5%	28.2%

表7 企業誘致についての考え



多く、次いで「熊本県以外の九州地域内(一〇%)」でした。年齢別に見ると、男女ともに年代が上がるにつれて「熊本県内」希望が多くなっています。このことから県民の多くは「県内」あるいは「九州

自然と風土を生かした観光の振興

本県観光の改善点
改善点は「施設の料理やサービス」
行きたい所は阿蘇がトップ

本県は豊かな自然、貴重な史跡、伝統のある郷土芸能など多くの観光資源に恵まれています。今後は、観光のもつ経済的効果に注目しこれらの豊かな資源を活用しながら、その振興に努めていくことが大切です。

そこで、本県の観光を盛んにするための改善点について聞いたところ、「宿泊施設や食事休憩店の料理やサービス」をあげる人が三五%、次いで「観光レクリエーション施設」が二六%、「道路」、「宿泊施設の建物」がともに一四%となっています。

これを地域別にみると「料理やサービス」という人は、熊本(三九%)で平均を上回り、球磨及び天草地域では「道路」とした人が多かった(二二%、二五%)が目立ちました。

表8 行きたい県内の観光地

	1位	2位	3位
熊本	阿蘇地域(43%)	天草地域(41%)	五木・五家荘地域(38%)
北部	〃(44%)	〃(40%)	〃(37%)
東部	天草地域(39%) 五木・五家荘地域(39%)	杖立・小国地域(20%) 山鹿地域(20%)	
南部	阿蘇地域(53%)	天草地域(43%)	五木・五家荘地域(31%)
球磨	〃(46%)	〃(37%)	杖立・小国地域(19%)
天草	〃(42%)	五木・五家荘地域(27%)	〃(23%)

なお、宿泊を伴う観光旅行で行きたい地域では、「阿蘇地域」が四四%で最も多く、杖立・小国地域(二二%)まで入ると六五%の人があげています。地域ブロック別に見ると表のような結果となりました。(表一八)

健康で明るい社会の建設

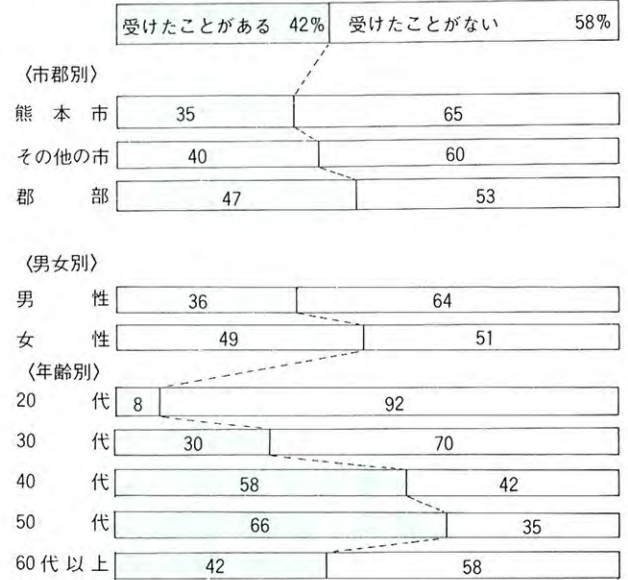
幸せを支える健康の確保

「不規則な生活にならないよう」
「ガン検診は四二%が「受けた」とがある」

幸せて充実した生活を送るためには、何よりもまず心身ともに健康であることが必要であり、健康の確保は、県民みんなの願いです。このため県では、総合的な健康づくりをめざし各種の施策を推進していますが、健康づくりについての意識をみてみます。

まず、自分の健康づくりで日ごろ心がけていることでは、「不規則な生活にならないように心がける」という人が最も多く五八%を占め、次いで「栄養のバランスがとれた食事をする」と「朝食を必ずとる」という人がともに三二%

表9 ガン検診の受診状況



でした。

次に、ガン検診の受診状況については、「受けたことのある人」は四二%で、市郡別でみると郡部の四七%が一番高く、男女別では女性の受診率が高くなっています(男性三六%、女性四九%)、また、年齢別では五十代(六六%)をピークとした山型傾向を示し、受けた検診の内容は、男性では九四%が「胃検診」、女性では八二%が「胃検診」、四六%が「胃検診」

でした。(表一九)

他方、ガン検診を受けたことのない人は五八%でしたが、その理由としては、「どこも悪くないから」が四二%と最も多く、次いで「機会がなかったから(三四%)」があげられました。しかし、今後受診するつもりがあるかという質問に対しては、受診したことのある人の九四%、ない人の七二%が「受診する気がある」としており、ガン検診に対する県民の意識の高

心のかよう明るい社会の実現

ボランティア活動への参加意向
六六%が「参加したい」
県では、高福祉社会の実現を目

さげうかがえます。

なお、日本脳炎予防接種状況では、受けたことがある人が三九%で、受けたことがない人(六一%)のうち五八%が今後受けたたいとしています。



ガン検診に対する県民の意識は高い